

承継新聞

大分県事業承継新聞

3月15日
(火曜日)

発行所: 大分県商工会連合会
事業承継・引継ぎ支援センター内
〒870-0026
大分市金池町3-1-64
大分県中小企業会館5F
Tel 097-585-5010
Fax 097-585-5011
https://oita-hikitsugi.go.jp

市町村担当者が承継支援手法を学ぶ！

大分市の老舗パン屋のシェフルさんの事例発表も！

事業承継支援に関する知識向上と事業承継施策に関する情報提供等を目的として、市町村事業承継担当者向けの研修会を開催しました。県内18市町村から16市町の担当者が参加。

今回は、コロナウィルスの感染拡大により、急遽オンライン研修会へと変更しました。

九州経済産業局中小企業金融課の植山真理さんから「国の事業承継・引継ぎ施策」、中小企業事業引継ぎ支援全国本部事業引継ぎ支援プロジェクトマネージャー 三谷勝巳さんから「事業承継支援における市町村の役割」など、国の考え方を解説。当センター 上尾光邦センター長から「大分県事業承継・引継ぎ支援センター活動事例」、大分県経営創造・金融課 近藤尊英さんから「大分県事業承継支援策」の説明。県内市町村で先進的な取り組みをする大分市創業経営支援課 赤嶺陽子さん、別府市産業政策課 白根誠大さん、宇佐市商工振興課 南真紀さんが具体的な事例を発表しました。



左は松本社長、中央は朝来SM、右は利根社長

市も本年度からスタートした事業で、利用者が多いため、来年度以降も事業の継続が期待されるところです。

今回の研修会は実際に事業承継を行った事例発表として、大分市の老舗パン屋さんであるシェフルさんの第三者承継の事例がパネルディスカッションの形式で実施されました(写真参照)。

実際に企業を引き受けた株式会社フクールの松本麻衣子代表取締役、支援をした民間M&A機関の株式会社AREAPパートナーズ利根健司代表取締役、進行役として当センターの朝来浩一郎サブマネージャーが登壇し、第三者承継に至ったきっかけ、苦労した点、良かった点などを具体的に話していただきました。参加者のアンケ

大分市の赤嶺さんからは今年度からスタートした事業承継をする際にコンサルティング経費等を補助する「大分市中小企業事業承継

ートでも現実の第三者承継についての事例を目の当たりにして、所属の市町村においても今後の支援に向けての参考になる等、大きな反響がありました。

アトツギ甲子園に大分県から選手出場

全国各地の中小零細企業の承継予定者(アトツギ)に限定して中小企業庁が開催するピッチイベントであるアトツギ甲子園。昨年度は、全国で15名のファイナリスト中、大分県からは2名が選ばれたという快挙を成し遂げました。昨年度に続いて、本年度も開催。

先代が培った有形無形の経営資源を活用した新規事業プランの事業化促進に向け、販路開拓・資金調達・技術開発などビジネスパートナーを求めて発表する場となった。



センター長から報告

上尾 光邦

令和3年度の事業報告をいたします。センター長の上尾です。

令和3年度は産業競争力強化法の改正により、平成27年度から第三者承継を支援している「大分県事業承継支援センター」と平成29年度から国の支援により始まった

三情報

- 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受ける中小企業に対しての支援金が国で算出されています。
- 新型コロナウイルスの影響で2021年11月と2022年3月のいずれかの月の売上が50%以下に落ち込んだ事業者が対象です。
- 固定費負担の軽減として5月(11月)の売上減少額を基準に算定した額を「一括給付する制度」です。詳細は、お近くの商工会・商工会議所又は中小企業庁のホームページを参照してください。

ホームページのアドレスが変更

センターのホームページのアドレスが3月1日から変わります。お気に入り登録をお願いします。

<https://oita-hikitsugi.go.jp>

を機に新しい挑戦を始めている。始めようとしているアトツギさんです。このイベントに参加すると全国の同年代のアトツギ仲間と繋がることができ、アトツギさんが考えている新規事業プランのブラッシュアップができることから全国から多くの参加者がエントリしました。

大分県からは豊後大野市大野町の株式会社バナポートクツカケの沓掛陽洗さんが、全国15名の狭き門であるファイナリストに選ばれました。

大分県 限界集落でも限界はない ～ 路上の伝説から宅内の電設 ～

株式会社バナポートクツカケ | 家電販売 | 沓掛 陽洗

格闘技やスロットに明け暮れ路上の伝説と呼ばれた20代前半。そろそろヤバイと思ってイヤイヤ手伝った家業(田舎の電気屋)。お客様の...

承継事例紹介

事業承継物語 2022 が完成しました

大分県事業承継・引継ぎ支援センターでは、昨年に続き、今年も当センターで支援した大分県内の事業者様のご協力を得て、事業承継支援事例集「大分県事業承継物語2022」を発刊しました。

冊子版は、県内の商工会に配布していますが、ご希望の方は、当センターホームページのお問い合わせフォームから資料請求いただければ、無料でお送りします。

また、ホームページでは、電子ブック版(PDF)も公開しています。こちらも無料でダウンロードしてご覧いただけます。

今回取材にご協力いただいた企業さんは、大分市のオリナスパックス株式会社、石金パンの店シェフル、株式会社マナミ、別府市の有限会社明石文



昭堂、日田市の本野はきもの工業、佐伯市の染矢建築、竹田市萩町の株式会社高橋工業、国東市のからあげ花ちゃん、宇佐市の梅田屋、日出町の有限会社日の出園の10社です。

事業承継支援の経緯、支援の内容、支援効果をまとめて掲載しています。

親族内承継にあたってご苦労された点など興味深い内容となっています。今年度は、第三者承継の事例も3社ご紹介することができました。

巻頭には事業承継ガイドとして、事業承継でよくある失敗例の事例や、事業承継の分類、事業承継に向けた準備などをコンパクトにまとめています。巻末には当センターが支援できるメニューも掲載しています。是非、ご覧ください。

イベント、市町村の事業承継担当者向けの研修会(今号に記事掲載等)、各種研修事業を実施しました。

③ 通常業務としての支援: 事業承継診断や金融機関からの紹介、直接の依頼により、当センターの職員が直接事業所を訪問して、事業承継時の課題解決に向けて支援してまいりました。400件以上のご相談に応じることができました。

令和4年度も、今年度以上に事業者の皆様へ寄り添いながら支援をして参る予定です。引き続きよろしくお願いいたします。

親族内承継支援を中心とした「大分県事業承継ネットワーク事務局」が統合され、新たに「大分県事業承継・引継ぎ支援センター」として4月からスタートしました。主な支援業務としては、①第三者への承継支援、②親族内承継支援、③後継者人材バンク、④経営者保証の解除です。どのような活動を行ってきたか報告いたします。

【事業承継課題解決のための事業】

① 各種相談会について: 前号、前々号でもご紹介しましたが、弁護士・税理士とセンタースタッフが同席して個別にご相談

